

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞
(土木部長賞)

「土砂災害への対策」

玉野市立八浜中学校 1年 まつお たいし 泰志

僕は、自然災害を100パーセント防ぐことは無理だと思っています。

中でも大雨などから始まる土砂災害は、防ぎようがないと思っています。

そう考える理由は主に4つあります。

まず1つ目は、土砂崩れがよく起きる山や森林の木の数が減っていることです。

木の根で山の斜面が崩れないように支えているのが、森林の伐採や木の育ちに悪い環境によって木が少なくなって、土砂災害が起きる可能性が1つ高くなります。

2つ目は、地球温暖化です。

この地球温暖化は工場から出る排気ガスや、何かを燃やした時に出てくる煙、この中の二酸化炭素などをふくんだ物質などが、地球を温暖化させる原因となります。

ですが、土砂災害と地球温暖化と何の関係あるのかと思う人もいるのではないのでしょうか。

実は意外とかかわっているんですよ。

なぜなら温暖気候で地面が乾き、大雨が降った瞬間、地面が弱くなり土砂災害が起きる可能性も無くはないからです。

3つ目は、土砂災害以外の自然災害です。

土砂災害以外の自然災害、たとえば、台風やゲリラ豪雨などほかにも自然災害はありますが、中でも2つを、この中でしていきます。

まず台風ですが、これは2024年8月に2回も起こったのですが、この台風を確実に無くすことができますか。

難しいと思いますよね。

確実に、100パーセント台風が無くなれば、土砂災害も減るかもしれませんが、その分、水不足になったり、台風が川や海の栄養分をかき混ぜることにより魚が底の方から上へ上がってくることがなくなったりするのです。つまり台風がすべて悪ではなく、良いこともあり、この点でも台風を100パーセント無くすことは難しいのです。

次にゲリラ豪雨です。

ゲリラ豪雨は、太陽の熱が地上付近を暖め、次に暖かく湿った空気が地上にやってきて上昇気流が発生し、それが上層の寒気とまざり、積乱雲が発達する。

これがゲリラ豪雨の発生メカニズムです。

これが山に直撃するとまた土砂災害が起きます。

このゲリラ豪雨と地球温暖化は少し関わっていると思いませんか。

4つ目は、私達人間が自然の物を使っていけないと生きられないということです。

私達は、自然の物、例えば、野菜や肉、魚などですが、この生き物によって環境破壊の原因の時もあるので、それを元に生き物を駆除して食べています。

または食べることを目的に捕えて殺すこともあります。

ですが、自然の生態系のバランスが崩れ、これもまた、土砂災害の原因の1つになります。

このように、計4つ紹介しましたが、人間が起こしている問題もあれば自然が起こしている問題もあり、全てが解決できる問題は少なく、土砂災害を100パーセント防ぐことは無理であると思いました。

また、今年は地震が多く、いつ南海トラフや大きな災害が起きるか分からない状態です。

この時、私達ができることは、2つあります。

1つ目は、人間の起こしている問題を減らすことです。

この文章でいくつか人間の起こしている問題を出しましたが、この問題を少しでも減らさないかがり、災害は起こり続けます。

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞
(土木部長賞)

自分の生活を見直してみても、良いかもしれません。

2つ目は、災害グッズを家に備えることです。

これがあるか無いかで災害が起こった時、大きな差が生まれます。

靴や、飲み水などを用意しておくだけで、家や避難所で困ることが少なくなります。

みなさんは、災害グッズを家に用意していますか。

ちなみに今は私の家では用意していません。

ですが、今回このことを考えてみて、けっこう必要だなと思いました。

みなさんも災害について考え直してみても、いかがですか。